

養液栽培におけるバラの品種特性（第4報）

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

バラは品種数が多く、その特性も様々である。種苗費が高く栽培期間も長いので、品種選定が経営に大きな影響を及ぼす。そこで、平成15～16年に発表された品種の特性について普及に移す技術（第80号）「普及情報」として示したが、平成19～20年発表の新品種を中心に各品種の特性を把握したので普及情報とする。

2 普及情報

- 1) 各品種の1年目から3年目までの切り花長階級別の切り花本数は図1、2のとおりである。
- 2) 各品種の切り花本数、切り花長、切り花重、莖径、花首長、花蕾長、花蕾数、棘の数については表1、2のとおりである。
- 3) 表を参考にし、各生産者の経営に合わせて品種を選定する。

3 利活用の留意点

- 1) データはアーチング栽培におけるものであり、他の栽培様式では切り花本数等に違いがみられる可能性がある。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所 園芸栽培部 電話022-383-8132）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

園芸作物のオリジナル品種育成 平成20年

みやぎ発信型の新規園芸品目の定着技術の確立 平成21～22年

2) 参考データ

(1) 耕種概要

定植日 平成20年4月14日～15日

栽培様式 アーチング法によるロックウール養液栽培

栽植様式 高さ45cm、長さ6m（実栽培部分5.4m）の高設ベンチに栽培槽を入れ、株間15cmの1条で36株定植。

採花期間 平成20年7月1日から平成22年12月27日まで

（平成21年1月から3月までは、低温管理により休眠状態とした。）

(2) 各品種の特性

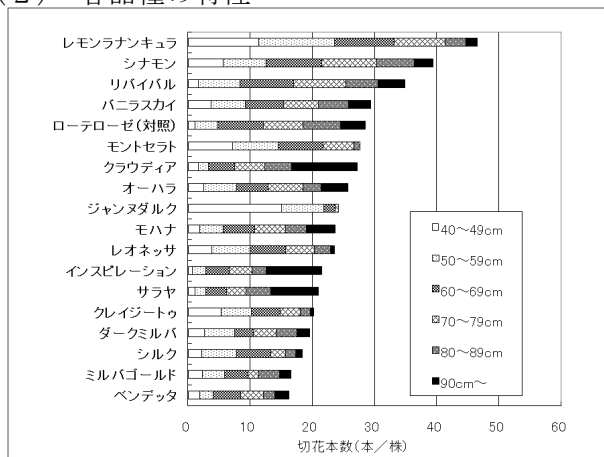


図1 スタンダードタイプ品種の切花長階級別切り花本数

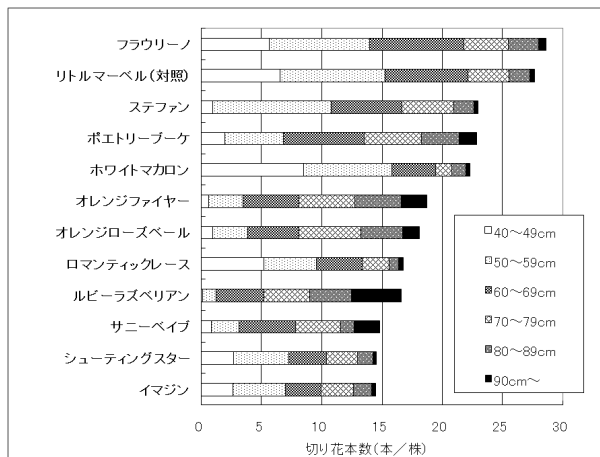


図2 スプレータイプ品種の切花長階級別切り花本数

表1 スタンダードタイプ品種の特性

品種名	花色	切花本数 (本/株)	上位等級 割合(%)※1	切花品質※2					棘の数	特記事項
				切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	花首長 (cm)	花蕾長 (mm)		
ペンデッタ	赤	16	47	69	34	6.0	9.3	37.1	多	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				73	42	5.6	14.4	41.5		
サラヤ	赤茶	21	71	86	51	6.5	9.2	44.9	多	
				96	72	7.8	12.7	54.6		
シルク	ピンク	18	27	60	47	4.4	7.4	40.7	少	
				84	49	6.5	11.9	54.6		
クレイジートウ	ピンク	20	26	49	25	3.8	9.8	42.7	中	淡ピンクと濃ピンクの絞り 香りが強い
				63	33	4.9	12.9	56.5		
リバイバル	ピンク	35	51	68	51	7.2	9.3	46.7	中	
				89	68	7.9	8.9	53.1		
クラウディア	ピンク	27	72	80	40	5.6	10.3	45.6	中	丸みのある花形 葉に照りがある
				110	70	6.5	14.5	53.5		
オーハラ	ピンク	26	50	65	42	5.4	10.2	44.3	中	ロゼット咲きの花形で芳香性が強い
				102	77	7.6	16.8	52.9		
インスピレーション	濃紫ピンク	22	69	74	33	5.2	9.4	41.4	無	
				95	55	6.2	12.4	45.5		
レモンラナンキュラ	黄	47	29	49	15	3.8	6.8	22.6	中	特徴のある花形
				76	31	5.0	8.6	22.1		
モハナ	黄	24	55	48	23	3.9	7.0	48.5	多	
				85	56	5.6	14.0	61.8		
ミルパゴールド	黄	17	41	46	26	5.1	6.0	34.8	中	黄色をベースにオレンジ色を帯びた花色が特色
				80	59	5.7	9.9	50.8		
バナラスカイ	黄	29	48	60	28	4.8	7.8	38.2	中	
				79	46	5.7	10.9	48.3		
レオネッサ	黄	24	33	64	35	5.2	8.6	40.7	多	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				67	36	5.1	9.9	50.9		
ジャンヌダルク	黄	24	2	42	22	5.1	10.7	34.3	多	ディープカップ咲きの花形で芳香性が強い
				58	34	5.3	10.3	45.1		
モントセラト	黄	28	22	57	23	4.3	7.9	39.6	中	大型のスプレータイプにもなる品種
				67	33	5.0	9.7	52.7		
ダークミルバ	オレンジ	20	46	59	30	5.5	7.0	38.4	多	
				77	56	7.0	11.0	50.2		
シナモン	オレンジ	39	45	66	30	4.9	8.8	45.5	少	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				73	36	5.0	11.9	49.4		
ローテロゼ(対照)	赤	29	57	74	28	4.9	11.0	42.2	中	
				87	44	5.6	13.8	56.2		

※1 切花長70cm以上の割合

※2 上段は、平成22年6月21日から7月30日まで、下段は平成21年11月13日から12月28日までの調査結果

表2 スプレータイプ品種の特性

品種名	花色	切花本数 (本/株)	上位等級 割合(%)※1	切花品質※2					棘の数	特記事項
				切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	花首長 (cm)	花蕾長 (mm)		
ルビーラズベリアン	赤	17	92	71	65	6.6	2.6	5.4	中	裏弁が薄ピンクで表弁が赤色
				86	93	7.4	3.7	5.0		
ステファン	ピンク	23	53	60	32	4.8	3.2	3.8	無	
				63	37	5.2	3.3	4.5		
ロマンティックレース	淡ピンク	17	43	46	28	4.8	2.1	8.1	中	花色は薄いページを帯びたピンク 波状弁抱え咲きの花形
				51	28	4.2	2.8	4.6		
フラウリーノ	淡ピンク	29	51	60	20	4.0	2.8	5.9	中	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				58	22	4.0	3.4	4.2		
イマジン	黄	15	52	52	28	4.3	2.6	7.3	多	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				45	30	4.8	2.6	7.0		
シューティングスター	黄	15	50	40	24	4.2	2.0	4.9	中	
				62	42	5.4	3.2	5.3		
サニーベイブ	黄	15	79	45	28	4.5	1.6	5.0	中	
				84	51	5.7	2.2	6.0		
ポエトリーブーケ	淡黄土	23	70	56	29	4.4	2.2	4.6	中	弁質は硬く、花持ちは良い
				70	38	4.9	2.8	4.7		
オレンジローズベール	オレンジ	18	79	67	32	5.0	2.8	3.6	中	
				73	46	6.2	2.5	3.9		
オレンジファイヤー	オレンジ	19	81	67	39	5.4	1.8	7.2	少	
				81	53	6.0	2.2	5.0		
ホワイトマカロン	白	22	29	50	37	4.5	1.9	7.9	中	高温期と低温期で、切花長、切花重に大きな差が無い
				47	25	3.9	1.8	4.3		
リトルマーベル(対照)	赤	28	45	54	19	4.0	2.0	5.8	多	
				59	39	5.3	1.8	6.8		

※1 切花長60cm以上の割合

※2 上段は、平成22年6月21日から7月30日まで、下段は平成21年11月13日から12月28日までの調査結果

3) 発表論文等 なし